



「農業農村整備事業」 令和6年度北海道開発局事業概要

国土交通省北海道開発局農業水産部農業計画課

事業実施の基本的な考え方

北海道は、全国の約4分の1を占める農地を活かし、主業農家を中心とした農業構造が確立しています。新たな北海道総合開発計画や、食料・農業・農村基本計画の改正案においても、世界的な食糧需給の変化や国内生産者の減少等から、食料安全保障を確保していくことが主な課題と位置づけられており、我が国の主たる食料産地である北海道においても、食料安定供給の更なる基盤強化が必要です。

このような中、北海道開発局としては、生産性を飛躍的に向上させることが期待されているスマート農業の効果的な利用が可能となる農地の大区画化・汎用化等の整備を推進し、農作業の省力化、生産コストの削減とあわせて、水稲からの作付転換等による需要に応じた生産を推進します。

海外依存度の高い小麦・大豆・飼料作物等の生産を拡大するため、排水改良等による水田の畑地化・汎用化、畑地かんがい施設の整備等による畑地の高機能化、草地整備等を推進し、実需者ニーズに応える生産量・品質の安定化、適切な輪作体系の確立、良質で低コストな飼料生産体制の確立等を進めます。

農村地域の防災・減災については、基幹的な農業水利施設の更新・長寿命化・耐震化の整備を進めるとともに、流域治水対策として、農業用ダムの洪水調節機能の強化、近年の降雨の変化に対応した排水施設の整備、田んぼダムに取り組む地域における農地の整備を進め、水害の防止・軽減に努めます。

農業水利施設を利用した小水力発電の導入、揚水機場の統廃合等による省エネルギー化など、ゼロカーボンや脱炭素にも資する取組を進めます。

主な取組

1 食料安全保障を支える農林水産業・食関連産業の持続的な発展

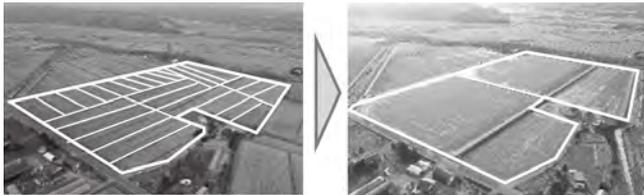
(1) 農地の大区画化・汎用化

農地の大区画化・汎用化、地下水位制御システムの導入等の基盤整備とあわせて、担い手への農地集積・

集約化を進めます。

また、基盤整備を契機としたスマート農業の活用やコントラクターをはじめとする作業受託組織の活用を図ることによる農業生産の省力化・効率化・低コスト化や、高収益作物の生産拡大による農業の高付加価値化等を推進します。

国営緊急農地再編整備事業「今金南・今金北地区」の例



農地の大区画化等の整備



スマート農業・農業の高付加価値化等を推進

(2) 畑地かんがい施設の整備

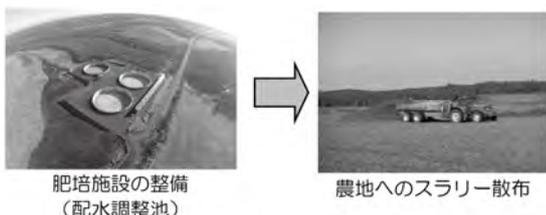
少雨時であっても高品質で安定した農業生産を支え、農業の競争力強化が図られるよう、畑地かんがい施設の整備を推進します。

また、酪農地帯にあっては、家畜排せつ物とかんがい用水を混合することで、家畜排せつ物の効率的な農地還元を可能とする肥培かんがい施設の整備を推進します。

国営かんがい排水事業「北見二期地区」の例



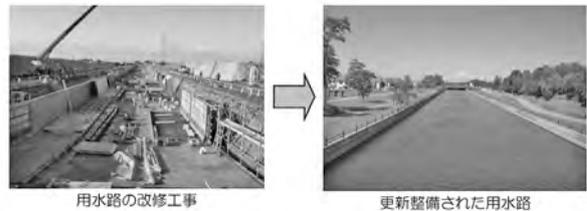
国営環境保全型かんがい排水事業「根室地区」の例



(3) 基幹的農業水利施設の保全・更新

基幹的な農業水利施設の計画的な更新・長寿命化・耐震化等を行い、施設のライフサイクルコストの低減と農業生産力の維持・確保を図ります。

国営かんがい排水事業「北海地区」の例



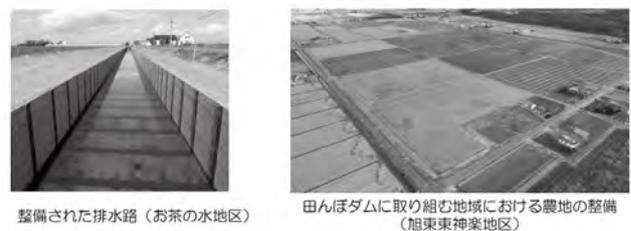
2 生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

流域治水対策の推進

道内の各水系では、気候変動による水害リスクの増大に備え、流域全体のあらゆる関係者の協働により「流域治水」に取り組まれており、水系ごとに策定される「流域治水プロジェクト」には、農業用ダムの事前放流、田んぼダムによる水田貯留機能向上など、農地や農業水利施設の多面的機能を活かした取組も盛り込まれています。

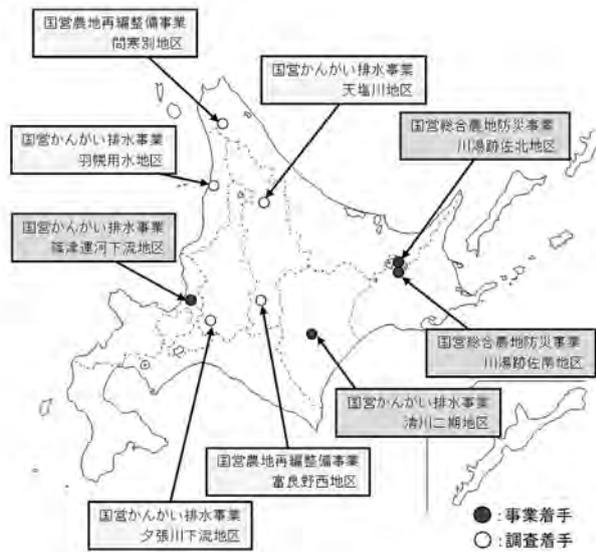
農業農村整備事業においては、流域治水の推進に向けて、市街地・集落を含む農村地域の排水対策のための排水施設の整備、事前放流等に取り組むダムの整備、田んぼダムに取り組む地域における農地の整備を推進します。

流域治水対策の例



令和6年度新規地区

令和6年度は、国営かんがい排水事業2地区、国営総合農地防災事業2地区において事業着手しました。また、5地区において調査着手しました。



ここでは、新規事業着手地区のうち2地区の概要を紹介します。

1 国営かんがい排水事業 篠津運河下流地区

(1) 計画内容

- ・関係市町村 江別市、石狩郡当別町
- ・受益面積 1,863ha
- ・主要工事 揚水機場（改修）1箇所、用水路（新設・改修）7.0km、排水機場（改修）2箇所、排水路（改修）8.4km

(2) 概要

水需要の変化、施設の経年的な劣化、エネルギー使用量が多い水利形態等に対応した用水再編と、流出量の増加による淡水及び過湿被害に対応した排水改良を行うことにより、農業用水の安定供給と維持管理の軽減及び農地の湛水被害の解消を図り、農業生産性の維持及び農業経営の安定を促進します。

(3) 地区の課題

- 用水施設の経年劣化や取水阻害、エネルギー使用量が多い水利形態により維持管理費用が増加。
- 排水施設の経年劣化や流出量の増加に伴い、排水能力が不足し、農地の湛水及び過湿被害が発生。

(4) 事業実施により期待される効果

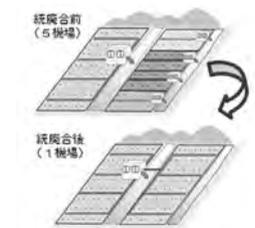
- 省エネルギー化に対応した用水施設の改修・統廃

合により用水の安定供給と維持管理費用、消費電力の軽減。

- 農業用水の安定供給および排水施設の改修による湛水等被害を解消しブロッコリー等の高収益作物の生産拡大。



用水路の漏水状況



揚水機の統廃合（イメージ）

2 国営総合農地防災事業 川湯跡佐南地区

(1) 計画内容

- ・関係市町村 川上郡弟子屈町
- ・受益面積 384ha
- ・主要工事 排水路（改修）5.5km

(2) 概要

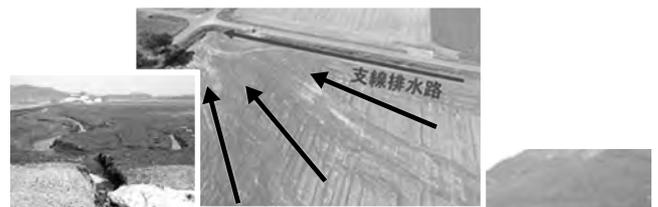
農業用排水路の機能回復及び土壌浸食等の災害の未然防止を図り、農地の湛水被害及び過湿被害を解消し、農業生産性の維持及び農業経営の安定を図り、もって国土の保全を図ります。

(3) 地区の課題

- 浸食を受けやすい火山性土壌に起因した土壌浸食により、農業用排水路の法面が崩壊する等、排水能力が不足し、降雨時には農地の湛水被害及び過湿被害が発生。

(4) 事業実施により期待される効果

- 排水路の機能回復による湛水被害及び過湿被害の解消並びに維持管理費の軽減。
- 排水改良により、高収益作物である生食用ばれいしょの生産を回復。



農地からの土砂の流出（左は浸食）



ばれいしょの植付作業